

# 観光安心通信

令和3年4月1日号

県では、県内での新型コロナウイルス感染症の感染事例における「感染拡大に影響があると推測される事項」を記者発表資料等から抜粋するなど事例を紹介し、改めて、各施設等における感染症対策の確認をしていただけるよう、月2回「観光安心通信」を発行し、情報提供しています。事例(推測される事実)の御紹介になりますが、是非、御一読いただき、参考にいただければ幸いです。

**事例1** 3/15 発表 (児童関連施設)

施設の感染対策については適切に講じられていたが、関係者の健康管理について一部に不十分な状況が見られた。

**事例2** 3/17 発表 (製造業(輸送用機械器具))

施設内の感染対策に一部不十分な状況があった。

**事例3** 3/17 発表 (保育施設)

施設内の感染対策は講じられていたものの、一部対応に不十分な点があった。

**事例4** 3/18 発表 (国家公務)

換気が十分にされていない室内において、マスクを着用しないで会話をしている状況があった。

**事例5** 3/22 発表 (医療機関)

休憩時間において、室内で近接した距離で、マスクを着用しないで、1時間程度、食事をしている状況があった。

**事例6** 3/25 発表 (教育機関(高等学校))

マスクの着用や共有物の消毒、換気などの基本的な感染対策に不十分な点が見られたほか、職員の健康管理など健康状態に応じた適切な対策が徹底されていなかった。

**事例7** 3/25 発表 (飲食店(酒類を提供するもの))

接客時における施設の換気、マスク着用、手指消毒、客の連絡先の把握等感染対策は適切に実施していたが、休憩時におけるマスクの未着用があった。

**事例8** 3/27 発表 (教育機関(中学校))

マスクの着用や手指消毒、定期的な換気や環境消毒等の感染対策は適切に実施されていたが、密な環境でのミーティングなどが感染拡大に影響があったと推測される。

**事例8** 3/28 発表 (保育施設)

感染対策についてはおおむね適切に対応されていたが、幼児の特性からマスクを使用せず保育していたため感染したものと推測される。

【お知らせ】 宮城県では、新型コロナウイルス感染症への対策を行っている施設に、「新型コロナ対策実施中！ポスター・ステッカー」を配布し多くの施設に参加していただいています。登録が未だの施設は是非、御検討ください。詳しくは、宮城県観光連盟HP (<https://www.miyagi-kankou.or.jp>)を御覧ください。

発行：宮城県観光政策課・観光プロモーション推進室 (県の組織再編がありました。)  
公益社団法人宮城県観光連盟